

# 三江線など地方鉄道を考えるシンポジウム in松江

## 基調講演

講師 上岡直見氏 交通権学会会長・環境経済研究所（技術士事務所）代表

## パネルディスカッション

コーディネーター / 岡崎勝彦氏 島根大学名誉教授 / 愛知学院大学大学院教授

パネラー / 行政関係者、三江線・木次線関係者

2016年

日時

4月17日（日）

13時～（16時終了予定）

場所

島根県教育会館

松江市母衣町 55-2

TEL 0852-25-6200

昨年10月、採算性を理由にJR三江線の廃止、バス転換の方向性が打ち出され、現在JRと自治体との間で検討会が進められています。

赤字でいえば木次線、山口線も同様で、山陰本線がより大きな赤字となっている状況の中では共通の問題といえます。

バス転換については先行事例を見ても利用者は激減しており、鉄道の代替えとしての持続可能な公共交通としての役割を果たせていません。また、人口減少が著しい中でさらに雇用の場も削減されることにもつながります。

少子高齢化が進む島根県にとって、移動手段の確保という交通権の問題は県政にとっても重要な課題であることから、今後の鉄道のあり方を考える場としシンポジウムを松江市で開催します。皆様の参加をお願いします。

主催：三江線など地方鉄道を考えるシンポジウム実行委員会

後援：三江線活性化協議会、木次線強化促進協議会、三江線を守る議員連盟、川本町商工会、雲南市観光協会、高宮町地域振興会連絡協議会、作木町自治連合会、石見川本鉄道研究会、安芸矢口企画、がんばれ三江線二人の会、地方交通の安全と利便性向上を目指すネットワークいわみ、三江線を守る会、下久野・花ももステーション、亀嵩そば、つむぎ、雲南市蒸気機関車 C56108 保存会、鉄道ジャーナリスト杉山淳一、連合島根 / 3月末現在

連絡先：シンポジウム事務局

電話0855-52-7705(山本) 090-4899-0264(小川) 090-3639-7173(細田)